

をとうとはをかしておどけし紅き頬ほに

涙流して笛ならうさま

歌 意

私の弟が笛をならうさまはとても可愛いのですよ。ふざけながらも一生懸命に練習して、真っ赤になった頬に涙までながしています。

掲出歌集 『舞姫』明治39（1906）年1月
初出 「明星」明治38年6月 「はなたちばな」（晶子27歳）

